サガニー耕地より

上里春生

青空文庫

二月半ばのそら、
酒室の呼吸を罩めて、風、
あまし、温かし
円ろかなるこの穹き
懐ろに、音もなく
彩雲ぞ、さすらふなる。

機おる遠き麓のむら村、
ゆるくゆるく、筏の昔幽かに
声音なし、幻の静けさに、たえなる夢を織れるか、
雲にそゝぎ入る恍惚、炊ぐ煙りの
直しき細流、君よとく、来らずや、
この身さみし。

水豊かに遠く連りて、
田を限る畔、唯見る目覚む一色に、

何をするぞ無言の二人、
さても黙然とうづくまりて、青光の鎌の刃に
さくさくと、草葉の重き寝りの上、
白蝋の手に湧くか緑葉は。
籠に緑児はねむり、すやすやと、
沈黙の雫を吸ふ。さくさくと実にさくさくと、
微かに愛しき囁きの忍び寄りて、
童子が朱唇をゆすれば、声は響きを呼び
響きは声を生み、激しき感激のきはみ、
天地一心になりをひそむ。

純なる童子が節調に、快き眠りぞ襲ひ来りて、
魂の蕩け入るけはひなる。あゝ気は澄みたり
固なつぼみを秘めし我が胸裡
ふるゝ心は温かし。
あはれやがて消えなんとする、思ひ出の果、
燻銀の微光澱める、遠き岬に夕陽が赤し。

青空文庫情報

底本：「沖縄文学全集　第1巻　詩※［#ローマ数字1、1-13-21］」国書刊行会
　1991（平成3）年6月6日第1刷
底本の親本：「文章世界　第12巻第4号」
　1917（大正6）年4月1日発行
初出：「文章世界　第12巻第4号」
　1917（大正6）年4月1日発行
※初出時の署名は「上里無春」です。
入力：坂本真一
校正：hitsuji
2019年5月28日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

サガニー耕地より

上里春生

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/